

函 農 水  
令和4年11月10日

経済建設常任委員会 委員各位

農 林 水 産 部 長

参考資料の配布について

このことについて、下記のとおり資料を配布しますのでよろしく  
お願いします。

記

- 1 浮沈式生簀耐久度調査結果について
- 2 海面養殖試験の実施について

(農林水産部水産課)

## 浮沈式生簀耐久度調査結果について

### 1 調査の概要

本年7月に設置した浮沈式生簀付近の水深約12mの位置に潮流計を設置し、流向流速を測定した。また、昨年度の事前調査と本調査の結果を比較、関係漁業者の意見を聞き、函館大森海域における生簀の耐久度を評価した。

- (1) 調査地点 函館大森海域浮沈式生簀付近（沖合1.5km, 水深30m）
- (2) 調査期間 令和4年7月30日～令和4年10月16日

### 2 調査の結果

#### (1) 潮流（※1ノット＝時速1.852km）

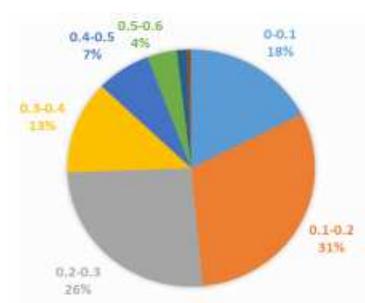
- ・最大流速 1.24ノット（事前調査：1.18ノット）
- ・平均流速 0.32ノット（事前調査：0.23ノット）

#### (2) 流速ごとの割合比較（0.1ノット間隔）

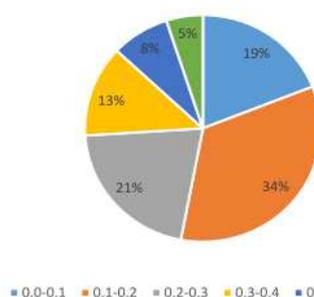
流速の間隔 0～0.1⇔0.1～0.2⇔0.2～0.3⇔0.3～0.4⇔0.4～0.5⇔0.5～

- ・割合(事前) 19% ⇔ 34% ⇔ 21% ⇔ 13% ⇔ 8% ⇔ 5%
- ・割合(今回) 13% ⇔ 21% ⇔ 19% ⇔ 15% ⇔ 13% ⇔ 19%

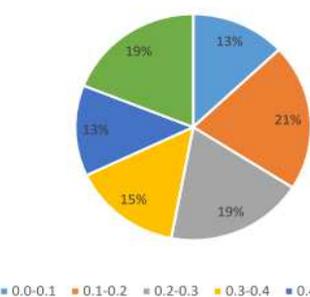
参考：他地域の養殖漁場の例



事前 (R3.11-R4.1)



今回 (R4.7-10)



#### (3) 流向

- ・南西方向の流れが多い。

### 3 評価

- ・昨年度実施した事前調査と今回の調査結果は類似しており、潮流の観点からみると、函館大森海域の潮流に対応可能である。
- ・浮沈式生簀は、事前調査の結果を基に安全率を加え設計しているため、今回の結果から、適切な管理のもと施設管理を行うことで、耐久度は問題ない。
- ・関係漁業者の意見では、函館大森海域において、これまでの海況下で浮沈式生簀を管理していくことは可能である。

## 海面養殖試験の実施について

### □ 事業の概要

本年7月に浮沈式生簀を函館大森海域に設置し、高波や波浪等に対する耐久度調査を行ったところ、本海域の潮流に対応可能であり、今後、適切な管理のもとでの耐久度に問題はないとの結果が得られたので、下記のとおりサーモン類を用いた魚類の海面養殖試験を実施することとする。

#### (1) 海面養殖試験

- ・ 飼育管理：令和4年11月11日～令和5年6月（予定）  
※悪天候の場合延期
- ・ 魚種：サクラマス 400尾（1尾400g）
- ・ 施設規模：浮沈式生簀 縦10m×横10m×深さ8m 1基
- ・ 設置場所：函館大森海域（函館市大森町地先、沖合1.5km、水深30m）
- ・ 施設管理：令和4年8月～（生簀設置中）
- ・ 委託先：函館市漁業協同組合
- ・ 委託業務：日常点検、浮沈作業、給餌作業など

<函館大森海域>



<浮上時の生簀>

